# 党中だより

令和5年6・7月号 令和5年5月30日(火)発行 栄町立栄中学校 発行責任者 髙橋 圭

<令和5年度学校教育目標>

確かな学力を身につけ、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成

## 手賀沼「トモダチ」作戦

校長髙橋圭

日曜日の晴れた朝には、自宅から車で15分の所にある手賀沼に走りに行く。手賀沼は柏市、 我孫子市、白井市、印西市にまたがる利根川水系の湖沼で、栄町からも車で30分ほど走れば到着 する。イメージとしては、栄町がチーバくんの「目」辺りとすれば、手賀沼はチーバくんの「鼻の 付け根」辺りだろうか。

\*

手賀沼のほぼ中央に手賀大橋がかかり、その橋を使って手賀沼を半周ひと回りするのがルーティンになっている。周回コース沿いには季節ごとの花が先を競うように咲き、時々白鳥がコース上を横切って歩いていたり、羽を休めて座り込んでいたりする。自分にとって手賀沼の一番の魅力は、ぽっかりと大きな空が、いつ行っても自分を迎えてくれるところだ。あの空の下を走ると、小さな悩み事なら空に吸い込まれていく。

先日走っていると、ふとある思いつきが頭に浮かんだ。

「すれ違う人全員が、あいさつを交わし合いながら走ったら、もっと気持ちのよい朝になるのではないか?」

自分には以前から、なぜここを行き交う人は皆無言なのだろう?声をかけたりかけられたりするのが嫌なのだろうか?という素朴な疑問があった。そこで、その日私は自分自身にひとつのミッション ― 「すれ違う人全員に『おはようございます!』と声をかけること」― を命じて走り出した。私はこの思いつきに名前を付けたくなった。思いついた名前は『手賀沼トモダチ作戦』。

\*

結果から言うと、手賀沼半周ですれ違った計121人(!)のランナー、ウォーカーのうち、「おはようございます」とあいさつを返してくれたのは98人(約80%)だった。私が声をかけても返してくれなかった人は23人。その23人のうち、イヤフォンなどを装着していて、あいさつが聞こえなかったと思われる人が16人。残りの7人が、聞こえている(だろう)が、まったく返事をしてくれなかった。思っていた以上にあいさつを返してくれて、とても気持ちがよかった。

手賀沼半周約60分で121人にあいさつしたということは、およそ30秒に1回声をかけた計算になる。短時間にこれだけの人と関わると、作戦の最後には、いくつかの気づきがあってとても勉強になった。まず、ある程度遠くから声をかけた方が、気持ちよくあいさつをしてくれる。初対面なのだから、至近距離でのあいさつは相手を驚かせてしまうのだ。また、かける声の大きさとキー(声の高さ)も肝心だ。相手が気持ちよく反応してくれる声のレンジ(範囲)があるのだと気づかされた。

\*

私は想像してみる。手賀沼を行き交うすべての人が、気さくに「おはようございます。今日もいい天気ですね」とか、「こんにちは。新しいシューズ、カッコイイですね。」などと言葉を交わし合い走る姿を。誰も言葉を発していなかった沼沿いの路上に、いつしかあいさつが溢れている姿を。そんな中をあいさつしながら、「実は自分が最初にあいさつを始めたんだよね」と、ちょっと誇らしい気分で駆け抜ける自分の姿を。

次はどこで作戦を決行しようか思案中である。もし校舎で声をかけられたら、「あ、校長先生 また作戦決行中だな」と思っていただいて結構。

今朝も気持ちのよいあいさつをくれたあなた。あなたも「栄中トモダチ作戦」の一員だ。 先生と一緒に、この世界を変えてみないか? 町民の方より心温かいお手紙をいただきました 先月、町民の方より以下のお手紙が本校の郵便受けに投函されていました。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*

### 【お手紙全文】

栄町立栄中学校

校長 髙橋 圭 様

#### 前略

突然のお手紙を失礼申し上げます。

私は近くに住む一町民です。

5月21日(日)に、地元のゴミゼロ活動に参加しましたが、その際に栄中の裏坂でゴミ拾いをしていた時、女性の方から「キレイにして頂き有りがとうございます!」と声をかけられました。相手の方を良く見ていなかったのですが先生か生徒さんかわかりませんでした。久々に温かい声を掛けられて、心からホッコリし嬉しかったです。自分もこんな素敵な言葉を掛けられるとは思いませんでした。そして今後もゴミ拾いを続けようかと思いました。栄中でも、こんな素敵な言葉を投げかけてくれる方がいるんだ、美しい感謝の気持ちを伝えて下さる人がいるんだと、嬉しい気持ちになりました。この言葉も常日頃校長先生や先生方の温かいご指導が垣間見えるようです。自分も、これから先、今日温かい言葉を頂いた方の様に、今後は自分からも温かい一言をと思う次第です。

取り止めの無い文章で申し訳ございません。今日の美しい声掛けを校長先生にお伝えしたくてお手紙を出させていただきました。

令和5年5月21日 一町民より

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

本校のどなたかが、お手紙の差出人の方に声をかけたそうです。

声をかけてくださった方、栄中学校はあなたを誇りに思います。どうぞその言葉がけを、 これからも止めないでください。

#### 【自治会の皆様】

5月21日の町のゴミゼロ運動では、本校近隣の方々が学校内の美化活動を率先して行ってくださったと聞きました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

# 6月の行事予定

# 7月の行事予定

1	木	第1回定期テスト1日目 部活動休 養日・一斉下校	16		修学旅行1日目	1	±	UPER THE COLUMN	16	B	パスケ大会会場
2		第1回定期テスト2日目 部活動休 養日・一斉下校	17	±	修学旅行2日目 登校日(1、2年 生)	2	B		17	月	90日
3	±	tydiae	18	B	修学旅行3日目	3	月		18	火	期末保護者会
4	8		19	月	護管体盤	4	火	学級優先日	19	水	大掃除 給食最終
5	月	2	20	火	学級優先日	5	水		20	木	1学期終業式
6	火	学級優先日	21	水		6	木	部活動休養日·一斉下校	21	金	<b>夏季休業日(8月31日まで)</b> 三者面談(3年生)~31(月)
7	水	進路学習会	22	木	職員会議 部活動休養日·一斉下 校	7	金	リーダー会議	22	±	<b>社会工程符合 57</b> 。
8	木	部活動休養日 · 一斉下校	23	金	リーダー会議	8	±	<b>また性にないは</b>	23	B	うだく選挙をしてく
9	金	尿検査2次 漢検	24	±		9	B		24	月	AC4
10	土		25	B		10	月	職員会議 部活動休養日·一斉下 校	25	火	STATE OF THE PARTY
11	B		26	月	3年生摄替休業	11	火	全校評議会	26	水	
12	月		27	火	全校評議会	12	水	専門委員会	27	*	1. Are + (1.4) 音句
13	火	1学年校外学習 学級優先日	28	水	専門委員会	13	木	部活動休養日‧一斉下校	28	金	キ ( 左京( ) 西( ) 一は
14	水	2学年校外学習 部活動休養日· 一斉下校	29	木	部活動休養日‧一斉下校	14	金		29	±	がされた。
15	木	<b>県民の日</b>	30	金	月末統計 壮行会	15	±		30		
										月	:063.JWB.Eld

## いじめ相談窓口

齋藤隆宗教諭 新井博之教諭 三木雄司教諭 黒田雄一教諭 柳澤晶子教諭 白澤直幸教頭



## セクハラ相談窓口

山本郁惠教諭 澤藤彩実教諭 御堂 恵教諭 佐藤 愛教諭 瀬尾小夏講師 原美沙紀講師 柳澤晶子教諭 白澤直幸教頭

# 【令和4年6月号原稿を再掲します。ぜひお読みください。】

# 6月28日を忘れない

令和3年の6月28日は、何をしていただろうか?

私は千葉県教育委員会の学校安全保健課というところで働いていた。この課は名前のとおり、千葉県にある小・中・高等学校の保健・給食・交通安全などに関する事を扱っていて、新型コロナウイルス感染症に関する学校生活におけるガイドラインもこの課が作成している。

\*

令和3年6月28日午後3時23分、千葉県八街市の通学路で、大型トラックが下校途中の小学生5人の列に突っ込み、2児が死亡し、1児が意識不明の重体・2児が重傷を負った。仕事場のテレビ画面では、斜めに傾いたトラックと規制線の中で何か計測している捜査員の姿が空撮で映し出されていた。課の30人全員でその様子を見つめながら、「これはとんでもない事が起きた」と思ったと同時に、栄町の長門橋付近を自転車で登校している栄中生徒の姿が頭に浮かんだ。「おいおい栄中の子達は大丈夫なのか?」と心配になったのを覚えている。

\*

後日私は事故現場に行ってみることにした。第一印象は、「この道で事故が起きるのか?」だった。でもその感想は「ドライバー目線」であることにすぐに気づいた。「登下校児童生徒目線」で見てみると、報道のとおり歩道がなく、幹線道路へつながる道という性質から、速いスピードで走り抜けていく車ばかりだった。

\*

そこで冒頭の質問だが、みなさんは令和3年6月28日は、何をしていただろうか。 今日学校に登校し、授業に参加し、友達と語らい、給食をいただいたということは、 少なくともあの日は無事に家まで帰り着いたのだろう。

朝、「いってきます」と元気に家を出た栄中の諸君が、もう二度と家に帰らないなんて、絶対に絶対にあってはならない。

あの日、八街市の5人の晩ごはんは何だったのだろう。帰ったらやりたかった ゲームの続きもあっただろう。読みかけの本はまだ自宅の本棚の中なのだろうか。 次の日は学校でプールに入る日だったかもしれない。

\*

私は朝出勤する際、学校前の駒形神社にお参りをしている。学校でみんなを 待っていると、せめてそんな事でもしたくなる。

明日も元気に登校しよう。学校で教室の窓を開けて待っている。